

伊賀再発見

三重大学伊賀連携フィールド特別講座

6月

18日
(土)

忍者★忍術学講座 in Tokyo

第1部 13:00~14:00

芭蕉忍者説を斬る!

伊賀出身の松尾芭蕉は忍者ですかとよく聞かれます。結論からいえば違います。芭蕉は「忍び」の術を身につける階層の出身ではなく、忍術をつかった痕跡も逸話もありません。実は芭蕉忍者説自体わずか50年前に誕生したものです。なぜ芭蕉忍者説が発生し、どのような過程で世間に流布していったのでしょうか。世にはびこる芭蕉忍者説を徹底検証します。



吉丸 雄哉 (三重大学人文学部准教授)

1973年長崎県生。三重大学人文学部准教授。主著に『武器で読む八犬伝』、『式亭三馬とその周辺』、共編『忍者文芸研究読本』など。江戸時代の小説・演劇資料から虚構の忍者像とその成立過程を研究する。

第2部 14:00~15:00

芭蕉のネットワークと藤堂家

芭蕉が黒装束に手裏剣を投げる忍者でなかったのはいうまでもない。しかしながら「忍びの者」のように、ひそかに様子を探り、情報を集めることが本当になかったのか。江戸での芭蕉と曾良のネットワークは、大老堀田正俊暗殺事件後の綱吉政権の主要な老中、若年寄と関わるものだった。そして、それは伊勢・伊賀の領主藤堂家にとってもまさにその時点で重要な人脈であった事をお話させていただく。



岡本 聡 (中部大学人文学部教授)

1966年三重県生。中部大学人文学部教授。主著に『「おくのほそ道」と綱吉サロン』(おうふう、2014)、『香川景樹』(笠間書院、2011)、『木下長嘯子研究』(おうふう、2003)など。江戸時代の歌壇・俳壇に精通する。

入場
無料

場所 三重テラス

東京都中央区日本橋室町2-4-1 浮世小路千足屋ビル「YUITO ANNEX」2F
東京メトロ銀座線「三越前駅」A9出口すぐ

日時 6月18日(土) 13:00~15:00 (受付12:00 開場12:30)

事前申し込み制
60名先着順
6月3日(金)〆切

主催: 三重大学伊賀連携フィールド、三重大学人文学部、上野商工会議所、伊賀市
後援: 三重県、公益社団法人三重県観光連盟、一般社団法人伊賀上野観光協会

お申し込み
問い合わせ



三重大学人文学部チーム 総務担当 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL:059-231-9194 FAX:059-231-9198 E-mail: hum-somu@ab.mie-u.ac.jp